



第75号 昭和41年1月1日 毎月1回1日発行
昭和33年1月23日第三種郵便物認可

よい子に育てるための12章

第10章 子どもともに みんなで学ぶよい家庭

子どもの遊びの中や、生活の中にも、いろいろな学習があります。また、すすんで勉強しようという意欲をおこさせるためには、よい環境と、よいふんい気をつくるべきです。

天馬空を行く

建設期への出発

町長 坂本常藏



ありますように、まことに、元氣のよい年であります。

昨年の下半期ごろから、国内的に不況ムードがたたき、重苦しい空気のなかで年があげましたが、国においては積極予算を組み、景気回復の政策を打ち出すと報せられています。

あけましておめでとうございませう。
希望に満ちた新春を迎え、心から町民のみなさんのご多幸をお祈りいたします。

ことは、午(う)ま年で、「天馬空を行く」というたとえも

町議会第四回定例会を、昨年十二月十三日ひらきました。

午前中一般質問を行ない、午後議案の審議にはいりました。

可決された、主な事項は、次のとおりです。

①町道の供用廃止と一部変更

中学校の敷地となった部分の町道の廃止と一部変更を行なったものです。

②昭和40年度一般計の補正予算

追加額は、四百五十万五千円で、総額一億一千八百九十九千円になりました。

総務費六十一万九千円は、現原

屋をはかりたいと考えます。

農業構造改善、土地改良などの諸事業を含む農業対策、中学校の整備、老朽小学校校舎の改築など教育面の充実、商工業の振興、道路の整備、住民福祉の増進、その他実施せねばならないことがらはたくさんありますが、町議会をはじめ、各機関のかたがた、町民の

みなさんご意見を十分に考慮してすすめてまいります。

具体的施策につきましては、来たる四月にはじまる新年度の予算に配慮したいと存じますので、

かきわて、みなさんの深いご理解と、変わぬご協力をお願い申し上げて、新年のごあいさつといたします。

住民の代表として

町議会議員 笹目義男

謹んで、新春のおよろこびを申しあげます。

希望にあふれる昭和四十一年を迎え、みなさんご幸福と、ご繁栄を心からお祈りいたします。

ことは、うま年、不況ムードのなかに過ぎた昨年から、一転して、好景気年にするよう、馬力をかけて努力をかさねてまいりましょう。

改修工事が延期されたことにより、四十八万円の減額となりました。

土木費二百四十九万九千円は、賃金、燃料代などの総務費九十四万、砕石、山砂利などの原材料

衛生費二十一万五千円は、せき

一般計 四百二十万円を追加

道路補修の材料費など

町議会から

り発生時における経費などです。

農林水産費は、飼料作物改善のための備品購入費百七十一万四千円などありますが、荒宿漁港

費百五十五万六千円が主なものです。

教育費は、玉川地区青年団への補助三千円です。

町政日誌

40年12月

7日 消防団秋季点検

17日 固定資産評価審査委員会

20日 農業構造改善協議会

22日 母子健康センター運営委員会

23日 定例町議会

24日 国保運営委員会

25日 農業委員会総会

一月の歴史

1日 オリジナルの父デーベル

タシ男爵は、一八六三年、フランスに生まれました。

満年令を果施(昭和24年)

6日 大衆歌人良寛は、一七五七年、越後の国(新潟県)で死去しました。

14日 シュバイツァー博士が、一八七五年、フランスに生まれました。

17日 避電針を発明したフランクリンは、一七〇六年、アメリカに生まれました。

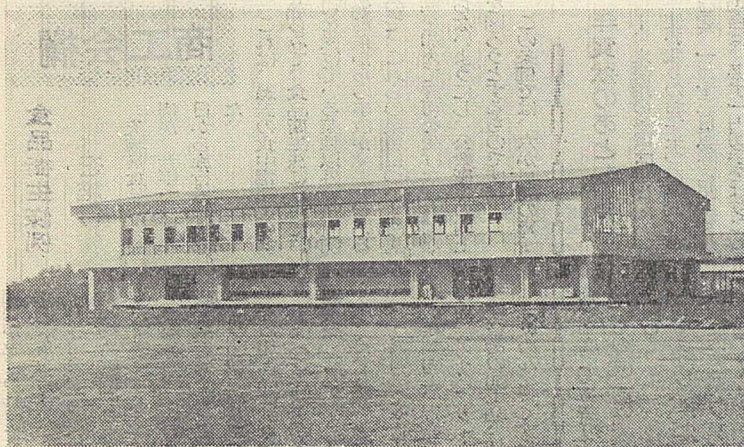
18日 世界的な植物学者牧野富太郎博士死去。(昭和32年)

27日 日の丸を国旗と制定(明治3年)

野口雨情死去(昭和20年)

28日 法隆寺金堂炎上(昭和24年)

飛田穂野死去(昭和40年)



＜体育館の全景＞

県立玉造工業高校

校舎、設備が完成

県立玉造工業高等学校の建築、設備工事は、昭和三十七年度から継続して実施してきましたが、最後の工事である、体育館、特別教室などの建築が完成し、昨年十一月十四日、その全容を一般に公開しました。

体育館は、鉄骨づくり平家建て八百平方メートルの堂々たる建物で、バスケットコート一面、雨天体操の諸施設などが備えられています。

そのほか、特別教室三百二十

平方メートル、便所、自転車置場、渡り廊下の増築などが含まれています。

また、P・T・Aの協力で、小使室及び部室百二十平方メートル、格技室百二十平方メートルもできあがりました。

完成された、施設、建物のあらましは、次のとおりです。

敷地 六〇・五六八平方メートル
建築面積 四、八五四平方メートル
延べ面積 六、六九三平方メートル
工事費 一億一、六三九万円（建物）

○本館 普通教室12 管理室8、特別教室3
○電気実習場 機器実験室、変電室、高圧実験室、工事作業室、電子工学実験室、電気応用実験室、電気磁気室
○機械実習場 鋳造、木型、鍛造、鍍金、仕上組立、工具管理室、工業計測実習室、材料試験室、熱機関、流体機械実習室
○特別教室 物理室、化学室、体育館、図書館

完成の喜び

県立玉造工業高等学校長

石 浜 五

菊花がおおむき日に、本校の完成の喜びを共にできますことは、まことに同慶にたえない次第であり、このうえもない光栄と存じあつくお礼申し上げます。

顧みしますと、本校の建設につきましては、三年前の昭和三十七年八月に、県の教育振興計画と高等学校生徒増進対策とによって決定されたのですが、本校がこの地に生まれだえんのものは、県当局、県議会、とくに地元の本沢先生、千ヶ崎先生をはじめ関係各位の深いご理解とご尽力によることはもちろん、それに加えて、玉造町坂本町長さん、工高誘致委員会のかたがた、敷地の協力者各位をはじめとする十九方町村に及ぶ関係のみなさんからの熱心な教育愛によるご協力のたま

ものでありますところ、今更申しあげるまでもないことと存じます。

ついで、同年十月五日に起工式を行ない、三か年の年次計画によって建設がはじめられ、六万余平方メートルの、緑にかまされたこの地に、ご覧のように、鉄筋コンクリート三層建ての本館をはじめ第一棟、第二棟、第四棟におよぶ特別教室、電気工場、機械工場、体育館など六十六万平方メートルに達する工業高校としての近代施設をそなえ、三万余平方メートルの運動場を有する堂々たる学園ができましたことは、工事施工者、監督者の、卓越した技術と旺盛な責任感のいたすところであり、衷心より感謝申し上げます。

また、この三年間、新しい学校

（体育館の内部）



本校発展のため今後共、ご指導、ご援助くださいますよう、お願い申し上げます。

（昭和三十九年十一月十四日の開放、体育祭における式辞から）

くらしのメモ

☆お正月に着た晴着の始末はお済みですか。しみやよれは、自分の手に負えないと思ったら、専門家に任せましょう。へたをするとあとで使いものにならなくなります。

この四月学校を卒業して、就職する方は就職用の衣服を用意しておきましょう。二月末から三月にかけては、衣類も高目になります。

☆二月から二月にかけて、きびしい寒さがつづきます。この寒さに負けないための食事のとら方。寒さに対抗するためにまず必要なのは、ビタミンDです。牛乳、たまご、レバー、魚の干物、しいたけなどに豊富に含まれています。

次にビタミンD。生野菜やくだもの不足勝ちの一月では、D欠乏の結果、壊血病になったり、かぜをひきやすくなるそうです。このDをとるには、ミカンやレモン、だいこんが最高。ミカンを二日一個か、だいこんおろしを二日一回の召しあがってください。

第二番目はビタミンB₁。寒いときはB₁の消費がさかんなので、いきおいB₁が不足がちになるのだそうです。これを補うには、豆類をおすすめします。落花生などは、一日十つぶで十分のことです。

発行所

玉造町役場

発行人 坂本常雄

編集 広報委員会（定価一部10円）

印刷所 新いはらき印刷局